製品安全データシート

１．化学物質等および会社情報

製　品　名　：　ハンダフラックス
製品コード　：　PL-1000, PL-1500
整理番号　：　SG043163
会　　社　：　サンハヤト株式会社
住　　所　：　東京都豊島区南大塚３丁目４０番１号
担当部門　：　本社　営業部
電話番号　：　03-3984-7791
F A X　：　03-3971-0535
用　　途　：　フラックス
作　成　日　：　1998 年 12 月 07 日
改　訂　日　：　2009 年 07 月 01 日　　REV. 1.20

２．危険有害性の要約

GHS 分類　：

引火性液体	区分２
皮膚腐食性／刺激性	区分２
眼損傷性／眼刺激性	区分２Ａ
生殖毒性	区分１Ａ
標的臓器／全身毒性（単回暴露）	区分１（呼吸器、肝臓、中枢神経系、腎臓）
	区分３（気道刺激性、麻酔性）
標的臓器／全身毒性（反復暴露）	区分１（呼吸器、神経系、全身毒性、中枢神経系、腎臓、肝臓）
	区分２（血液）
吸引性呼吸器有害性	区分２
水生環境急性有害性	区分２
水生環境慢性有害性	区分２

ラベル要素
絵表示又はシンボル　：

注意喚起語　：　危険
危険有害性情報　：
引火性の高い液体及び蒸気
皮膚刺激
強い眼刺激
生殖能または胎児への悪影響のおそれ
臓器（呼吸器、肝臓、中枢神経系、腎臓）の障害
呼吸器への刺激のおそれ
眠気またはめまいのおそれ
長期または反復暴露による臓器（呼吸器、神経系、全身毒性、中枢神経系、腎臓、肝臓）の障害
長期または反復暴露による臓器（血液）の障害のおそれ
飲み込み、気道に侵入すると有害のおそれ
水生生物に毒性
長期的影響により水生生物に毒性

注意書き　：
使用前に取扱説明書を入手してください。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。
熱、火花、裸火、高温のもののような着火から遠ざけてください。－禁煙。

保護手袋および保護眼鏡、保護面を着用してください。
必要に応じて個人用保護具を使用してください。
防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用してください。
静電気放電に対する予防措置を講じてください。
屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないでください。
この製品を使用する時に、飲食またな喫煙をしないでください。
取扱い後は良く手を洗ってください。
環境への放出を避けてください。

国 地 域 情 報 ：

３．組成、成分情報

単一製品・混合物の区分　：　混合物

化学名	ﾛｼﾞﾝ	ｷｼﾚﾝ	酢酸ｴﾁﾙ	ﾒﾁﾙｲｿﾌﾞﾁﾙｹﾄﾝ
含有量（wt%）	10～20	30～40	20～30	1～10
官報公示整理番号	-	3-3	2-726	2-542
CAS No.	-	1330-20-7	141-78-6	108-10-1
EINECS	-	215-535-7	205-500-4	203-550-1
輸出統計品目番号	3806.20.000	2902.44.000	2915.31.000	2914.13.000
IMDG	-	3.3	3.2	3.2
国連分類	-	3	3	3
国連番号	-	1307	1173	1245
PRTR 法	非該当	1-80 （改正前：1-63）	非該当	非該当

化学名	ｱｾﾄﾝ	ﾄﾙｴﾝ	ｿﾙﾍﾞﾝﾄﾅﾌｻ	活性剤
含有量（wt%）	1～10	1～5	1～5	<0.5
官報公示整理番号	2-542	3-2	-	-
CAS No.	67-64-1	108-88-3	64742-95-6	-
EINECS	200-662-2	203-625-9	265-199-0	-
輸出統計品目番号	2914.11.000	2902.30.000	-	-
IMDG	3.1	3.2	3.2	-
国連分類	3	3	3	-
国連番号	1090	1294	1268	-
PRTR 法	非該当	1-300 （改正前：1-227）	非該当	非該当

Sunhayato

４．応急処置

目に入った場合　：　直ちに清浄な水で最低１５分以上洗浄する。コンタクトレンズを使用している場合は固着していない限り、取り除いて洗浄する。洗浄後、医師の手当を受ける。

皮膚に付着した場合　：　汚染衣服は直ちに脱ぎ、多量の流水で触れた部分を充分に洗い流す。必要に応じ医師の手当を受ける。

吸引した場合　：　直ちに空気の新鮮な場所に移し安静に努め、速やかに医師の手当を受ける。

飲み込んだ場合　：　直ちに水で口の中をよく洗浄させる。無理に吐かせず、速やかに医師の手当を受ける。

その他　：　暴露または暴露の懸念がある場合は、医師の手当を受ける。

５．火災時の処置

消火剤　：　粉末、二酸化炭素、乾燥砂、泡等

使ってはならない消火剤　：　棒状水

特有の危険有害性　：　引火性の高い液体。蒸気を吸入すると麻酔薬として働き、繰り返してさらされた場合、粘膜への刺激、めまい、感覚鈍麻、頭痛などを起こす。

特有の消火方法　：　初期消火には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。大規模火災には、泡消火器などを用いて空気を遮断することが有効である。周辺火災の場合には速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場所は、容器及び周辺に散水し冷却する。

消火を行う者の保護　：　消火作業は風上から行い、必ず保護具を着用する。

６．漏出時の処置

作業の際は保護具を着用し、漏洩した液が皮膚に付着したり、蒸気を吸入したりしないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。付近の着火源を取り除く。関係者以外の立ち入りを禁止する。少量漏出の場合は、乾燥砂、土、おがくず、ウエスなどに吸収させて、密閉できる空容器に回収する。大量漏出の場合は、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。漏出液を下水や側溝等に流してはならない。

７．取扱いおよび保管上の注意

取扱い　：　火気、衝撃火花などによる着火源を生じないように注意する。吸入を防ぎ、眼、皮膚との接触を避ける。必要に応じて保護具を着用し、換気の良い場所で風上から作業する。密閉された装置、機械、または局所排気装置を使用する。

保管　：　容器を密閉し、換気の良い冷暗所に施錠して保管する。

安全な容器包装材料　：　国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

８．暴露防止および保護処置（ｷｼﾚﾝの情報を記載）

管理濃度　：　50ppm

許容濃度　：　日本産業衛生学会　50ppm
ACGIH TLV　100ppm

設備対策　：　室内での取扱いの場合は発生源の密閉化または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くには安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設けその位置を明確に表示する。

保護具　：　有機ガス用防毒マスク、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴等を使用する。

Sunhayato

９．物理的および化学的性質

外　観　等　：　褐色透明液体
臭　　　い　：　特異臭
p　　　H　：　情報なし
融　　　点　：　情報なし
沸　　　点　：　情報なし
引　火　点　：　－4℃（酢酸ｴﾁﾙの情報を記載）
爆 発 限 界　：　情報なし
蒸　気　圧　：　情報なし
蒸 気 密 度　：　情報なし
比　　　重　：　0.905（20℃）
溶　解　度　：　水；一部不溶　　　その他；種々の有機溶剤と自由に混合
n-オクタノール／水分配係数　：　情報なし
自然発火温度　：　情報なし
分 解 温 度　：　情報なし

１０．安定性および反応性

安　　定　　性　：　通常状態では安定である。
反　　応　　性　：　強酸化剤と反応する。
避けるべき条件　：　高温、酸化剤
混触危険物質　：　強酸化剤
危険有害な分解生成物　：　一酸化炭素等

１１．有害性情報

急　性　毒　性　：　経口ラット LD_{50}　情報なし（ﾛｼﾞﾝの情報を記載）
経口ラット LD_{50}　4,300mg/kg（ｷｼﾚﾝの情報を記載）
経口ラット LD_{50}　5,620mg/kg（酢酸ｴﾁﾙの情報を記載）
経口ラット LD_{50}　2,919mg/kg（ﾒﾁﾙｲｿﾌﾞﾁﾙｹﾄﾝの情報を記載）
経口ラット LD_{50}　9,750mg/kg（ｱｾﾄﾝの情報を記載）
経口ラット LD_{50}　4,800mg/kg（ﾄﾙｴﾝの情報を記載）
経口ラット LD_{50}　5,980mg/kg（ｿﾙﾍﾞﾝﾄﾅﾌｻの情報を記載）
皮 膚 刺 激 性　：　ウサギで中等度の刺激性の報告がある。（ｷｼﾚﾝの情報を記載）
刺 激 性（眼）　：　ウサギで中等度の刺激性の報告がある。（ｷｼﾚﾝの情報を記載）
感　作　性　：　情報なし
生殖細胞変異原性　：　なし
発　が　ん　性　：　情報なし
生　殖　毒　性　：　トルエン暴露による自然流産の増加、妊婦のトルエン乱用による新生児の発育異常・奇形等の報告がある。（ﾄﾙｴﾝの情報を記載）
特定標的毒性／全身毒性（単回暴露）　：　ヒトで呼吸器、肝臓、中枢神経系、腎臓の障害の報告がある。（ｷｼﾚﾝの情報を記載）
ヒトで気道刺激性、麻酔作用の報告がある。（ﾒﾁﾙｲｿﾌﾞﾁﾙｹﾄﾝの情報を記載）
特定標的毒性／全身毒性（反復暴露）　：　ヒトで呼吸器、神経系の障害の報告がある。（ｷｼﾚﾝの情報を記載）
ヒトで全身毒性の報告がある。（ﾒﾁﾙｲｿﾌﾞﾁﾙｹﾄﾝの情報を記載）
ヒトで血液学的変化の報告がる。（ｱｾﾄﾝの情報を記載）
ヒトで中枢神経系、腎臓、肝臓の障害の報告がある。（ﾄﾙｴﾝの情報を記載）
呼吸性呼吸器有害性　：　ヒトで液体を飲み込むと誤嚥により化学性肺炎を起こす危険があると報告がある。（ｷｼﾚﾝの情報を記載）

１２．環境影響情報

魚　　毒　　性　：　ニジマス　LC_{50}（96h）3.3mg/L（ｷｼﾚﾝの情報を記載）
分　　解　　性　：　情報なし
蓄　　積　　性　：　情報なし

１３．廃棄上の注意

内容物や容器を指定廃棄物処理業者に産業廃棄物として委託する。

１４．輸送上の注意

国連分類　：　クラス３（PG-Ⅱ）
国連番号　：　1866
陸上輸送　：　消防法、労働安全衛生法等の定めるところに従うこと。
海上輸送　：　船舶安全法の定めるところに従うこと。
航空輸送　：　航空法の定めるところに従うこと。

１５．適用法令

消　防　法　：　危険物第４類第１石油類
ＰＲＴＲ法　：　該当　1-80、300（改正前：1-63、227）
（なお、PRTR 届出のための排出・移動量の把握は平成２２年４月からの開始であり、平成２１年度分の届出は政令改正前の第一種指定化学物質、号番号に基づき行なう必要があります。）
労働安全衛生法　：　施行令第１８条　名称等を表示すべき有害物
施行令第１８条の２　名称等を通知すべき有害物
令別表第１　危険物（引火性の物）
有機溶剤中毒予防規則　：　該当
船舶安全法　：　危規則第３条危険物　引火性液体類
航　空　法　：　施行規則第１９４条危険物　引火性液体
港　則　法　：　施行規則第１２条危険物　引火性液体類
輸出貿易管理令　：　非該当

１６．その他の情報

記載内容は、現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。
また、注意事項は、通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は用途、用法に適した安全対策を実施のうえ、ご利用ください。
記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。